

令和5年度 いきいき健康づくりミニバレー大会 開催要項

- 1 趣 旨 「市民ひとりひとりのライフステージに応じたスポーツ活動への参加推進」のため、市民が気軽に楽しめる室内ペタンク大会を開催することにより市民の健康増進と競技者同士の親睦を深める。
 - 2 主 催 十和田市教育委員会
 - 3 共 催 十和田市スポーツ推進委員協議会
 - 4 開 催 日 令和6年3月24日（日）
 - 5 競 技 日 程 受付 午前8時30分～
監督会議 午前9時～
競技開始 午前9時15分～
表彰式 競技終了後
全日程終了 午後1時（予定）
 - 6 会 場 十和田市総合体育センター（メインアリーナ）
 - 7 対 象 市内在住か勤務の方（学生可）もしくは近隣市町村在住のミニバレー愛好者。
（年齢制限はなし）※傷害保険は各自加入のこと。
 - 8 部 門 ①混合の部 ②初心者部の部
 - 9 チーム構成 1チームは最大6名のプレーヤーとし、1名の監督とする。
（監督は選手を兼ねることができる。）
①混合の部は、男女各2名以上
（但し、男子に代わって女性は1人まで交代できる。）
②初心者部の部は、性別問わず4名以上
 - 10 競 技 方 法 参加チーム数によりリーグ又はトーナメントとし、組合せは主催者側で行う。
 - 11 競 技 規 定 別紙大会競技規定参照
 - 12 参 加 料 無料
 - 13 表 彰 各部門上位3チームまで表彰状と記念品
により表彰する。
 - 14 申込み方法 所定の参加申込書により令和6年3月13日（水）午後5時必着で直接持参
又はFAX・メールにてお申し込みください。
注）審判等競技のオフィシャルは、帯同審判としますので、必ず申込書に帯
同審判の方の氏名を1名以上ご記入ください。
- 【申込先】〒034-8615 十和田市西十二番町6-1（十和田市役所別館）
十和田市教育委員会 スポーツ・生涯学習課 担当：伊東
TEL:58-0187 FAX:24-3954 E-mail: keigo_ito@city.towada.lg.jp
- 15 そ の 他 昼食や水分補給は、各自補給してください。
屋内用シューズを持参ください。

令和5年度 いきいき健康づくりミニバレー大会 競技規定

1. コートとネット

- ・コートはサイドライン900cm、エンドライン610cm、ネットの高さは155cmとする。

2. ゲーム方法（十和田ルール適用）

- ・ゲーム開始前に両チームのキャプテンによりジャンケンを行い、サーブ権かコートの選択権のいずれかを決める。
- ・1セット15点のラリーポイント制で3セットマッチとし、2セット先取したほうを勝ちとする。
14点对14点の時はデュースとし、2点差がつくまで行う。ただし、デュースは16点对16点
で打ち切り、17点目を先取したチームを勝ちとする。
- ・3セット目は8点でチェンジコートを行ない、15点先取とする。

3. 選手交代

- ・登録プレーヤーなら何回でもどのポジションとでも交代することができる。
- ・交代を要求できる人は監督及びキャプテンとし、ボールデッドのとき副審に告げるものとする。

4. 作戦タイム

- ・1セットにつき最大2回とする（30秒/回）。
- ・作戦タイムを要求できるのは監督及びキャプテンとし、ボールデッドのとき副審に告げるものとする。

5. パス

- ・3回以内に相手のコートに返さなければならない。（反則：4回以上はオーバータイムス）
- ・パスやブロックで1回ボールに触れたプレーヤーは、再び続けてプレーすることはできない。但し、
ネットにボールが触れた場合はこの限りではない。（反則：ドリブル）
- ・ボールはウエストより上であれば身体のどの部分に当たっても良い。（反則：フットボール）
- ・ボールはつかんだり投げてはならない（反則：ホールディング）。

6. サービス

- ・サービスは自コートのエンドライン後方から1回で相手コートに打ち込む。
- ・サービスは完全に支持手から離して打たなければならない。
- ・サービス時にサーバーの体に触れずに床に落ちた場合は、同一プレーヤーが1試合に1回限りやり直ることができる。
- ・サーバーは、サービス時にエンドラインに触れるか、サイドライン想像延長線外に踏み出しては
ならない。（反則：フットフォルト）
- ・サービスは、アタック及びブロックで、一回で返してはいけない。
- ・サービスボールはネットを完全に、しかもボールの想像延長線に触れる範囲内を通過しなければならない。
- ・サーバーは、主審の笛の後速やかにサービスしなければならない。
- ・サーバーが主審の笛の前にサービスしたときは、やり直しとする。
- ・各セットのサービス開始は、前のセットでサービス権を行使しなかったチームが行う。
ただし、3セット目はじゃんけんにより勝ったチームがサーブ権又はコート権を選択する。

7. ローテーション

- ・サービス権をとったときには、直ちに時計の針と同じ方向に1つだけポジションを移動する。

8. アタック

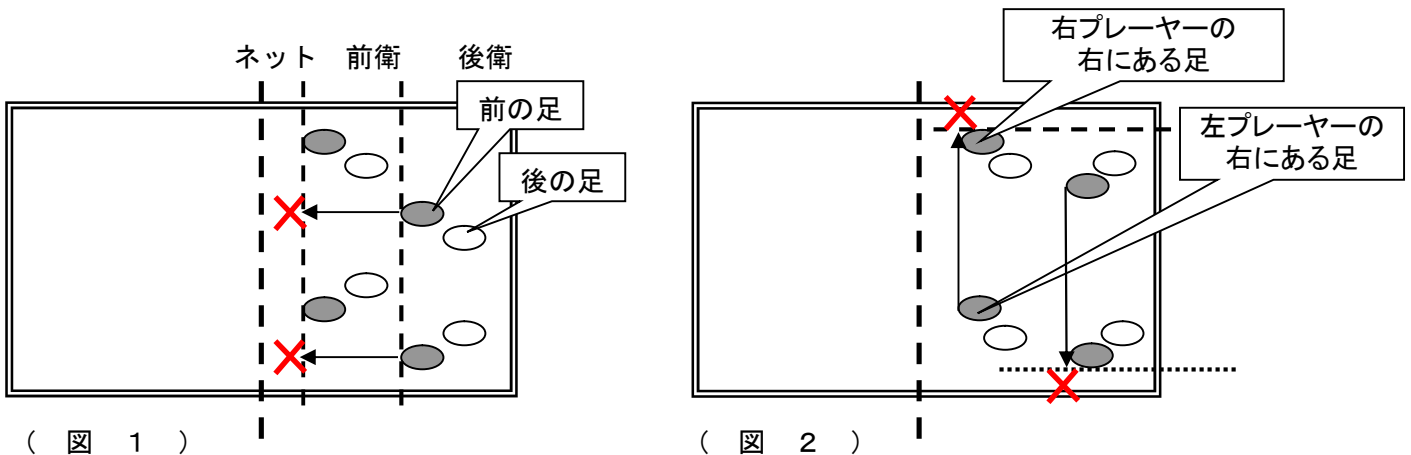
- ・誰がどのポジションからアタックを行っても良い。

9. その他の反則

- ・オーバーネット：プレー中ネットを越えて相手ボールに触れてはいけなく。但し、手や身体の一部がネットを越えてもボールに触れなければオーバーネットではない。
- ・タッチネット：プレー中、体のどの部分でもネットに触れてはいけなく。
- ・スクリーンプレー：サービスをする側のプレーヤーは故意にサーバーを隠す行動や手の構えをしてはいけなく。(サービスを打たれる前まで肩から上の位置に手を上げてはならない。)
- ・アウト オブ ポジション：サービスが打たれる際にレシーバー側、又はサーバー側の前衛と後衛の前後関係及び左右の位置関係が違っていたとき

①前衛の前の足よりも後衛の前の足が出てはいけなく。前後の判定は、前衛と後衛の前足の位置(図1)

②左プレーヤーの右側にある足が、右プレーヤーの右側にある足よりも右に出てはいけなく。又その逆の場合、左側に出てはいけなく。左右の判定は、左プレーヤーの左側にある足、右プレーヤーの右側にある足の位置(図2)



10. その他

- ・ボールはネットを完全に、しかもボールの想像延長線に触れる範囲内を通過しなければならない。

(図3)

